

県人とふるさと山梨を結ぶ情報誌

富士の国

2023.
開花号
No.677

令和5年 新春賀詞交歓会

クール⑦やまなし「米倉山山梨県産グリーン水素見学ツアー」

ドクター望月の山梨トリビア

Linkage Interview 米山 好映 氏

スタートアップする若者たち

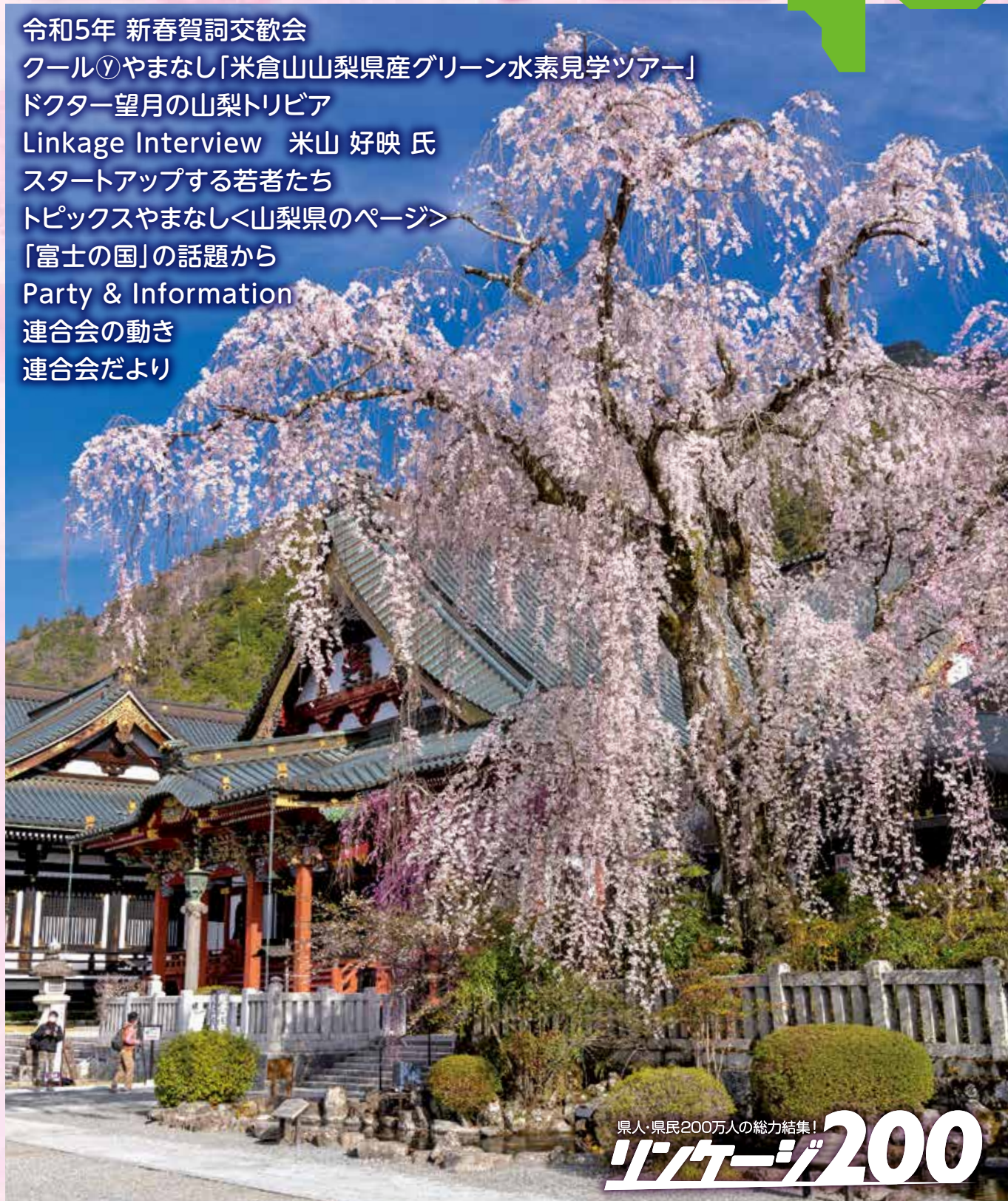
トピックスやまなし<山梨県のページ>

「富士の国」の話題から

Party & Information

連合会の動き

連合会だより



県人・県民200万人の総力結集!

シケージ200

身延町・身延山久遠寺
写真提供:やまなし観光推進機構



YAMANASHI

山梨県人会連合会

富士の国

CONTENTS

- 04 令和5年 新春賀詞交歓会
- 08 クール⑤やまなし「米倉山山梨県産グリーン水素見学ツアー」
- 12 ドクター望月の山梨トリビア③
- 13 クリーンファイターズ山梨を応援しよう!
- 14 Linkage Interview 米山 好映 氏
- 18 スタートアップする若者たち ~山梨から未来を創る~②
- 20 トピックスやまなし<山梨県のページ>
- 24 がんばれ!ヴァンフォーレ甲府!
- 25 クィーンビーズを応援しよう
- 26 「富士の国」の話題から
- 28 Party & Information
北杜高校東京同窓会 / 甲斐市山梨県人会 / VF甲府 スーパーカップ応援 / 大泉会
在京山梨政経懇話会 / 堀内浩庵会奨学生募集案内
- 34 連合会の動き
- 38 連合会だより

水と生きる SUNTORY

新

生きれば
生きるほど、
生ビールはうまい!

あの頃の
気持ちで
新発明します。
1967年。
つくれたのは
はじめて
生ビール缶を
サントリーが

サントリー生ビール
4.4



STOP 120歳未満飲酒・飲酒運転
お酒はなによりも適量です
妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう
のんだあとはリサイクル ※自社内において

令和5年新春賀詞交歓会開催

アフターコロナの県人会活動に向けて口火を切る賀詞交歓会を3年ぶりに開催
第8波の高止まりの中、コロナ対策を万全に120名が参集し交流を深める



令和5年1月27日午後6時から目黒のホテル雅叙園東京において令和5年のスタートを切る山梨県人会連合会の新春賀詞交歓会が山梨からの来賓25名を始め役員など120名が参加して3年ぶりに開催された。

飯窪光隆総務副委員長(十士会会長)の司会進行により、中込勝子会長代行の開会の言葉「今年の干支はみずのと卯、飛躍と向上の年です。山梨県と県人会連合会が共栄・互恵の道を歩み、実りある1年となるよう祈念しながら親睦を深めたい」と開会の言葉を述べ、続いて清水喜彦会長が「コロナ禍の第8波が続く中で慎重に検討を重ね、万全の対策を取ったうえででの開催を決意したところ山梨からも多数の来賓の皆様の間場を得て本日の開催となった。この3年振りの本日の集いを、県人会活動の本来の目的である山梨ゆかりの県人が相互に親睦を



深め、郷土山梨の発展に寄与するためのスタートとし、みずのと卯の年に相応しくジャンプできるような活動を進めていきたい。また、昨年天皇杯を獲得したヴァンフォーレ甲府のACLアジアチャンピオンズリーグへ

の参戦については山梨出身者に広く呼び掛けて支援の輪を広げていきたい」と主催者あいさつを述べた。

多数お迎えしたご来賓の中から始めに公務のため欠席の長崎幸太郎山梨県知事に代わって渡邊和彦副知事が長崎知事の祝辞を代読し「2月17日から2期目の任期を迎えることとなった。次の4年間は県民の生活基盤を強く安心なものとするふるさと強化、国内、海外にも開かれた開の国づくりを基本方針として豊かさに到達できるように山梨を更に進めてまいりたい。そのためにも様々な立場で活躍されている山梨県人会

連合会との連携が不可欠、引き続きのお力添えをお願いしたい」とのメッセージを伝えた。

続いて山梨県議会を代表して久保田松幸議長から「3年ぶりの賀詞交歓会の盛会を祝すと共に県人会の皆様にはふるさと山梨の発展に増々のお力添えをお願いしたい」との祝辞が述べられた。続いて県選出の国會議員を代表して連合会行事への初めての出席となる小沢雅仁参議院議員から、甲府市山城地区出身などの自己紹介と「私の政治信条は平和を守ることにある。山梨の発展と共に県民の皆様命と暮らしを守るた

めに働いていきたい」などの挨拶が述べられた。

次に市町村長を代表して山梨県市長会長の金丸一元南アルプス市長から「県内市町村は長期化するコロナの感染防止対策や物価の高騰に伴う経済対策などに鋭意取り組んでいるが、アフターコロナを見据え、新たな交通ネットワークの整備や企業誘致、観光振興、農産物の販路拡大などの施策に積極的に取り組んでいるところ。これら取り組みをより堅実なものにするためには県人会連合会と県内市町村の連携が不可欠。更なる連携をお願いしたい」と述べた。





続いて懇談に移り、乾杯は山梨県から提供された甲州種の白ワインにより連合会の総務委員長を務める中村芳文副会長が行った。

懇親会は感染防止に配慮して、通常10人が掛ける円卓に6名から7名掛けとし、アクリル板を設置しての開催となった。また、恒例のアトラクションも今回は行わず、マスク会食のルールを守りながらの懇談が行われた。和やかな裡に定刻となり、連合会事業委員長を務める飯島登美夫副会長から閉会のことばと「3月8日には事業委員会の今年度初めての事業として、旧山梨カミングデーをクールやまなしに改称し、山梨県の水素事業視察をメインに市川三郷町や甲州市を訪れるツアーを計画しているので奮ってご参加を」とのお願いがあり、関東一本締めで午後8時の散会となった。



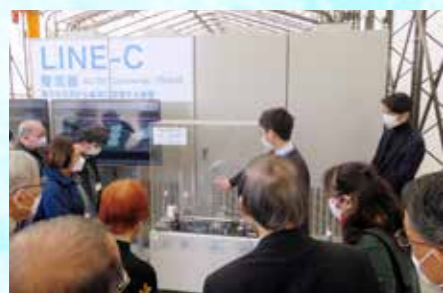
「米倉山山梨県産グリーン水素 見学ツアー」を開催



「やまなしカミングデー」から「Cool^YYamanashi」へ。
企画事業第1弾は、山梨県産グリーン水素の供給プロジェクト視察と日本一の絶景温泉「みたまの湯」で食と温泉を楽しみ、老舗ワイナリーで甲州ワインの魅力堪能するツアーを開催。清水会長以下46名が快晴の甲州路を満喫。



米倉山電力貯蔵
技術研究サイト
(甲府市)



クール^Yやまなし事業

2009年(平成21年)から11年続いてきた山梨県人会連合会事業委員会の主要事業「やまなしカミングデー」は2019年の第11回を最後にコロナ禍により3年間中断を余儀なくされましたが、2022年度総会からスタートした新たな事業委員会(飯島登美夫委員長)により名称も「クールやまなし」事業と改め、ふるさと山梨への里帰り事業「クール^Yやまなし」事業と都内や首都圏の山梨県人ゆかりの事業を訪問する「クール^Yやまなし」事業の2本立てで展開されることになりました。このほど2022年度の「クール^Yやまなし」事業の第1弾として、「米倉山山梨県産グリーン水素見学ツアー」が、快晴の甲州路をめぐるバスツアーとして開催されました。

参加者の募集は、コロナの感染状況と米倉山の研究施設の完成を待つ、年明けから始まり、各単位団体代表者あてに当初40名(最少催行人員30名)で通知されましたが、新型コロナウイルス第8波の収束の兆しもあつて8名のキャンセル待ちという状況になり、急遽バスを49人乗りの大型バスに変更し、最終的に清水喜彦会長始め46名の参加者となりました。

3月8日午前8時の定刻に新宿駅西口を出発し



た貸し切りバスの車内では、飯島事業委員長のあいさつや米倉山で山梨県と東京電力、東レが出資して水素ガス供給事業を開始した(株)やまなしハイドロジェンカンパニー(YHC)の会長に就任している連合会の清水会長も事業内容の紹介を行い、更に山梨県企業局が用意したVTR3本を放映するなど真剣な研修ツアーの開始となりました。

米倉山電力貯蔵技術研究サイト(甲府市)

最初の訪問先、甲府市中道町の「米倉山電力貯蔵技術研究サイト」では、3月30日オープンを前に、完成したばかりのセミナー棟で樋口雄一甲府市長代理の田中健康市長室長が歓迎のあいさつを行い、甲府市長からキティちゃんトートバッグに入った「甲府歴史ものがたり」が全員にプレゼントされました。施設の状況とグリーン水素製造事業の説明は山梨県企業局の新エネルギーシステム推進室宮崎和也室長(YHC取締役)から行われ、従来から山梨県企業局が整備してきた太陽光のメガソーラーシステムで発電された電力(自然エネルギー)で市の水道水を電気分解して製造されるグリーン水素製造システムやリニア中央新幹線の開業に備えて全国から水素関連の研究施設や企業を誘致し集積を図る「次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ」の進捗状況の説明が行われました。その後、2班に分かれてYHCが実際にグリーン水素を製造している「P2G実証研究棟」や水素の充填や輸送のシステム、

丸藤
葡萄酒工業
(甲州市勝沼)



丸藤葡萄酒工業(甲州市勝沼)

3番目の訪問先は「ルバイヤート」の商標で名高い1890年創業の老舗ワイナリー「丸藤葡萄酒」でした。4代目大村春夫社長の出迎えを受けて、狩野高嘉工場長の案内による工場見学と大村社長のワイン解説付きの試飲会の2班に分かれて研修を開始。徹に覆われた年代物のボトルが並ぶ貯蔵庫などを見ながらワイン製造の工程の説明を受けると試飲への期待も高まります。試飲会ではルバイヤートで一番人気の甲州シユールリーから赤の高級酒まで4種類のワインを試飲。テイストイングのやり方から料理との相性を考慮してのワインの選び方まで大村社長のワインへの愛情たっぷりの解説を聞きながら堪能しました。

やまなし観光推進機構の念入りな運営で全て定刻通りに進んだツアーも帰途に移り、車内では、鈴木幹夫甲州市長から差し入れ頂いた赤・白の山梨ワインを味わいながらクルル⑤やまなし第1弾の研修を終了しました。
(事業委員会)

みはらしの丘
みたまの湯
(市川三郷町)



みはらしの丘みたまの湯(市川三郷町)

2番目の訪問先、市川三郷町営の「みたまの湯」は温泉総選挙「絶景部門」4年連続日本一を誇る名湯で周囲の肥沃な「のつぶい」と呼ばれる土壌を活かして栽培される長尺の大塚にんじんとトウモロコシの「甘々娘」でも名高い地域です。地元の遠藤浩市川三郷町長の出迎えを受けて、「甲府盆地を隔てて正面に八ヶ岳、左に南アルプスの絶景を眺めながら温泉を楽しむ」の歓迎の挨拶と共に毎年8月7日に開催される神明の花火大会のロゴを配したタオルと大塚にんじんの形のボールペンなどがプレゼントされました。昼食はその大塚にんじんや全て地元の野菜をふんだんに使った和食が供され、たっぷりとった休憩時間を使って日本一の絶景露天風呂を楽しみ、併設された直売所では新鮮な野菜を購入していました。

研究開発ビレッジに入居予定の8社のうち、既に東京お台場から移転完了した(株)FC | Cubicの研究施設で行われている実証実験の様子を見学し、研究から実用化に向けて実際に展開されているグリーン水素事業について充実した研修となりました。



CLEAN FIGHTERS YAMANASHI

新体制のお知らせ



ヘッドコーチ 小池 善行

PROFILE

東海大菅生高校より東海大学に進み、セコム、横河電機、ヤマハ発動機で選手として活躍。2016年に引退し、以降静岡ブルーレヴズ普及担当のかたから静岡の女子7人制ラグビーチームアザレア・セブンHCなど後進の指導にあたり、昨シーズン途中よりCF山梨の指導も開始。現役時代のポジションはスクラムハーフで、元日本代表、元7人制日本代表。1979年3月8日生まれ東京都出身。

リーグ戦優勝と上位グループ昇格を目指します。
ラグビーで山梨に元気をお届けしますので応援よろしくお願ひします。



〒400-0074 山梨県甲府市千塚3丁目4-19 GA甲府第4-2
お問い合わせ先：Tel 070-9012-7224 | Mail yamanashi@clean-fighters.jp



Dr. 望月の

山梨トリビア③

江戸時代「一宮の人」は好奇心旺盛だった？

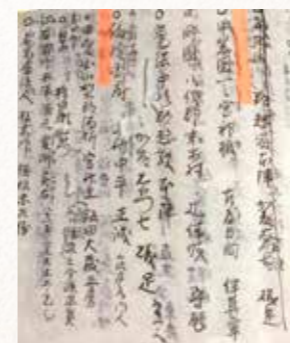
本号は「開花号」で開花というと笛吹市一宮町の桃源郷のような桃の花を思い出します。その一宮で江戸時代、記録に残った方と記録を残した方がいます。紹介します。

1. 記録に残った一宮人

「古事記伝」を著した江戸時代の国学者「本居宣長」をご存じでしょうか？ 以前、外科の研究会が三重県であり、その際松阪市にある「本居宣長記念館」を訪れました。記念館に入ると宣長が小児期から書き残した膨大な日記（生まれた日から日記がある）、10代の頃に自分で書いた詳細な日本地図などが展示してあり、圧倒されました。この記念館は色々な意味で凄いです。ぜひ1度訪れて下さい。

同館を訪れて、初めて宣長が医師であった事、そして医師になる為に京都で修行中の27歳の時にそれまで顧みられなかった「古事記」を発見、その後松坂で医業をなしつつ古事記の研究に勤しみ、34歳から69歳まで「古事記伝」を刊行（1-44巻）。昼間は医師として働き、夜、古事記の研究を行っていたのです。「今年は患者さんが多かったので収入が安定した」と書き残して親しみがもてます。

「古事記伝」を刊行したことで、日本中にその名を知られるようになり、色々な方が全国から宣長の居住する松坂に来て、教えを乞うています。宣長は学びに来た人々の名前を書き残しています（1777-1800年：300名）。その名簿が展示してあり、中に甲斐国一宮の名前が驚きました。



本居宣長記念館編「新版本居宣長の不思議」（2013年）91頁より引用（同館の許可を得ています）

“甲斐国一ノ宮 神職 古屋日向 伴真章”

とあります。一宮浅間神社の神職の方だと予想します。神職の方が宣長の下を訪れたのは古事記に関係しています。延喜式神名帳（907年）に載っている古い神社の「御祭神」は古事記に記された神様です。一宮浅間神社も同帳に載っていてその御祭神は「木花開耶姫（このはなさくやびめ）」です。古事記に記されている神様です。宣長が「自分達の神社の御祭神が記されている古事記」に光を当ててくれたので、一宮から宣長に教えを請いにいったのでしょうか。そして記録に残りました。

2. 記録を残した一宮人

磯田道史著「日本史の内幕」（中央公論社2017年）は様々な古文書を解説した本です。読んでいて一宮が出てきました。幕末「甲斐国八代郡南田中村 田中伝左衛門」さんが書き残した金比羅参りの旅行記「天保11年（1840年）道中日記帳」を同書で紹介しています。それによると、伝左衛門さんは久能山東照宮を参詣したり、安倍川で「餅」を堪能したり、桶狭間の古戦場を訪れたり、大阪で人形浄瑠璃を楽しんだり、かなり豪華な旅をしている様子などがうかがわれるのだそうです。

磯田氏の真骨頂である「とことん調べる」事を思わせる記述があります。一部、略して引用します。「この日記を書いた伝左衛門の子孫を探せないかと思った。南田中村は現在の笛吹市一宮町田中である。電話帳を見ると田中姓の家が10軒足らずある。グーグルで「田中電気」という郵便ポストが店の前にある電気屋さんを見つけた。ポストが家の前にある家は古い。この店に電話をかけた」なんというか、ここまではか（笑）。結局、この電気屋さんではなく、他の田中さんが「田中伝左衛門」さんの子孫だとわかったと書いています。本物の歴史家は徹底的に調べるのですね。どうやって笛吹市の電話帳を見たのでしょうか？

たまたま「一宮」の名前が目にとまったのですが、一宮の方は江戸時代、好奇心旺盛だったのではないかと思います。一宮は叔父の家があり、従兄弟と一緒に遊んだなじみ深い土地です。その「一宮」を見てうれしくなり紹介しました。

望月 吉彦（首都圏甲府会副会長）

注目！甲州人 27

富国生命保険相互会社
代表取締役社長

米山好映氏

甲府一高で出会った生涯の友に誘われて早大政経学部に進学。母親の一言で私淑する郷土の偉人「小林中（コバチユウ）」がいた富国生命に入社、2010年第9代社長に。激動する生保業界の中で創業100年を迎える富国生命の独自の社風と人づくりの哲学を伺った

聞き手 山梨県人会連合会広報委員長 山下昌彦



—ご出身は旧中道町とお聞きしています

そうですね。中道町の白井という所です。境川という川を挟んですぐ隣が境川村で、テレビ塔のある坊ヶ峰の下で育ちました。家は養蚕のほか米も野菜も自給する小さな農家でした。

—地元の小中学校に通われたのですか

はい。小学校は中道北小学校、中学校はその隣にあった中道北中学校です。中道北中は私が卒業した後、中道南中と豊富中と合併して笹南中学校に変わりましたが、私の頃までは小中学校共に70人が2クラスに分かれてずっと同じ顔ぶれの本当に田舎の小さな学校でした。

—どんな子供時代でしたか

実は私は小学3年生位までは学校に行くのがつらくて、今で言う不登校の一手手前のような子供でした。保育園にも行ってなくて、保育園の先生が自転車を迎えに来てくれたのに「帰れ」と言ってるのを投げたことをおぼろげながら覚えています。何の切っ掛けがあつて普通に学校に行けるようになったのかは思い出せないので、そればかりではなくて、この子供時代の記憶というのがほとんどないのです。心理学という良い思い出が無いので無意識に記憶を消してしまつたのではないかと思っております。農家ですから家の仕事はよく手伝いました。私は田んぼや畑にも行つたのですが、不思議

なことに3つ違いの兄は少しも手伝わずに本を読んでいました。私の読書好きはこの文学青年で詩を書いたりしていた兄の影響ですが、結局この兄が農家を継いで、私は東京に出ることになりました。

—高校は甲府一高で私の一年先輩です

小中学校共に小さな学校でしたから、普通に試験前に勉強するくらいでも中2頃までは成績も一番が続き、児童会長、生徒会長も務め、部の活の野球部でもピッチャーで主



将でした。そんな「優等生」の自分がいやになり、中3頃には遊び呆れました。また先生から「中道北中からも最低一人は甲府一高に行ってくれないと困る」などと言われてそれが本当にいやでした。

背が小さかったので。それに中3の時から始まっていた鬱屈したような気持ちはずっと続いていて、通学に必要なだったバイクの免許を取つてからはもう雷族でした。自分でバイクを改造して笛吹

社長となる古屋文明はじめ生涯の友人4人に出会うことになりました。

川の河原でモトクロスもどきのことをやることに夢中でした。

—早大政経学部に進学します

勉強はほとんどしないでバイクに夢中の高校生活でしたから成績も悪く、大学に進学するというはつきりとした針路も持てないでいました。しかし古屋と望月透という二人の友人から「一緒に早稲田を受けないか」と強く誘われて受験することになり、担任にこのことを告げると「君の成績で合格する訳がない」と言われ、憤慨しましたが案の定、古屋と望月は現役で合格し私は落ちました。この時も二人は特に望月は渋る私を説得するだけでなく、予備校も下宿も決めて英語の辞書まで買ってくれて「早稲田に來い」と言ってくれたのです。この4月からの半年は高校3年間分の勉強をして翌年早稲田に行くことになりました。この二人が居なければ今の私はありません。

—早稲田の学生生活はどうでしたか

自分では「苦学生」だと思つた

—就活は一切しないで富国生命一本だつたとのことですが

3年生の頃からポツポツ授業も始まり、4年になると周囲は皆就職に向けて動き出しました。私は何になるという確たるものが無く、できれば暫くはこのままで居たいという位の気持ちでしたが4年の夏休みが終わる頃に山梨に帰るとこれまで何も言わなかった母親から「折角大学まで出したのだから就職して欲しい」と言われてこれは効きました。これまで一切干渉されたことが無く放任の状態です。自由にしてきていた母親からの一言でしたので当時私淑していた郷土出身の小林中（あたる）コバチユウの会社に行こうとこの時決めました。

米山好映氏に聞く

Linkage Interview

様々な本を濫読する中で戦後日本の復興や成長をリードしたのは政治では吉田茂、経済では小林中というのが私の持論ですが、3年生の頃にコバチューの資料を探したりして私淑を自認していました。



それで10月頃でしたか当時は靖国神社境内の遊就館内にあった本社で三次募集の面接を受けたのです。面接で尊敬する人物はと聞かれ、当然「甲府一高の大先輩の小林中と石橋湛山」と答えましたが金融とか生保の業界

については何も知らずただ「コバチュー」のみで決めました。入社後は横浜月掛支社を皮切りに様々な部署を経験されています。何も知らずに入った生保業界ですが最初に配属された横浜支社で

生命保険の原点を知ることになります。口座引き落としが出来なくなった契約者の所を訪問するのですが残高が残り少なくなった通帳を見せられて、こういう契約者に万一のことがあった時に生命保険会社が破綻して約束した保障額を払えませんという事態は絶対あつてはならないことだと痛感しました。物を作っている会社は倒産しても社員は困りますがお客様は困りません。一方生保では契約者様全員が重大な影響を受けることに

なります。ここに我が社が規模拡大より健全な経営を目指し、相互会社の形態にこだわる理由があります。全ては生命保険の特性である顧客との長い契約関係を確実に保障するためです。

それでもバブル期には資産運用部門にいて当時の社長の方針を理解できなかったとか
一九八〇年代後半の運用を担当する財務企画室長時代は丁度バブル期と重なります。日本中がバブルに浮かれて株と不動産の投機に走った時代に当時の古屋哲男社長からは「株と不動産は買うな」という指示が下ります。しかもその指示は2〜3年ではなくてずっと続きます。古屋社長自身が長く運用部門で株式や不動産投資を担当してきた経験から「株も不動産も高過ぎる」という信念は揺るがず、リスクの高い変額保険を売らなかつたこととあわせて、この深い見識の真価を理解することになるのはバブルが崩壊してからでした。

いはなかつたのですが、実際に生保の破綻が始まると風評被害を防ぐにはどうすれば良いか本心に悩みました。それを考え抜いた末、格付け会社の格付け取りに行つて高い格付け評価を取ることができました。弊社と同規模の生保会社が次々に破綻しましたが、会社の健全性は規模ではないことが証明されました。

そのバブル崩壊後、総合企画室長として九〇年代末の生保破綻、再編の危機に遭遇します
富国生命の横並びを嫌い他社との差別化にこだわる独自の企業風土を守り続けることと安心を担保する堅実な運用という方向性に迷

その後取締役、常務を経て二〇一〇年に社長に就任されます
社長就任は全くの想定外でしたが、日経新聞始めメディアも皆同様の反応でした。まだリーマンショックの余燼が燻る中で、就任直後に東日本大震災が起こり、直ぐに若手の職員が支援物資をかき集めて福島・宮城に行つてくれました。私は3月28日から福島・宮城に入りました。現場で営業職員が自分の家が流されたのに、家族より先に顧客の安否確認を行う姿に事実上の創業者、2代目社長の吉田義輝が唱えた「契約者本位」を目の当たりにして感動しました。また最初に手を付けたのは

「人づくり」です。就任直後に人材開発本部を作り本部長に就任しました。バブル崩壊後、ともすれば削減される傾向だった研修や教育に力を入れることにしました。若手総合職対象の「経営塾」を設けたり、私と5〜6名の職員で車座になつて行う「車座ミーティング」を本社と全国各地の拠点で行つていますが既に300回に及びます。

この山梨の景観と夏暑く冬寒い氣候風土が明治期に「灯りと足を押さえろ」と言つて日本の基盤を作り上げた甲州財閥と言われる人々を生み出したのではないのでしょうか。

は間違つていのではないかと思ひます。そういう意味で山梨はこれだけ東京に近い所で素晴らしい自然環境を持つていふことで移住希望者も常に5番目以内に入つていますよね。私も東京へ出るまでは田舎の鬱陶しさから逃げ出したという気持ちが強かつたのです

追求していけば良いのだと思ひます。
山梨県人、山梨の若者にメッセージ
山梨の人は優れた景観や自然環境と共に郷土が生んだ明治以降の日本を創つた偉人たちにも誇りを持つていいのではないのでしょうか。ともすると山梨の人はいっぺんに信玄公までさかのぼつてしまつて明治以降の日本を創つた先人達のことを忘れがちです。もつと見直して誇りとすべきだと思います。

お陰様で若手の職員たちが2代目社長の吉田義輝の業績をまとめた冊子「創業の心」を作つて1万3千人の全職員に配布するとか、富国独自の社風を更に磨いて浸透することに繋がつて来たと思ひしています。

人口減少時代の山梨はこれからどうあるべきでしょうか
私は人口が減ることが悪いことだという考え方に与しません。江戸時代も暗黒の封建社会だったという見方からもっと豊かな社会だつたのではという見方が最近では増えてきています。現代の風潮は豊かさを経済指標だけで判断し、失われた30年と決めつけますが、この30年のノーベル賞受賞者や建築界のノーベル賞と言われるプリツカー賞の受賞者やクラシック音楽界での日本人の活躍などを考えれば社会の豊かさを人口や経済指標だけで判断すること

18歳まで育つた山梨の風土についてはどうな思ひをお持ちでしょうか

私が育つた中道から富士山は見えませんが八ヶ岳と南アルプスの素晴らしい景観を眺めながら育ちました。また子供の頃は田んぼで下駄スケートができるくらい冬の寒さは厳しいものがありました。



略歴 米山好映 (よねやま よしてる)

1950年(昭和25年)6月23日生
現役職 代表取締役社長 社長執行役員
出身地 山梨県中道町(現甲府市)
学歴 1969年(昭和44年)3月 甲府第一高等学校卒業
1974年(昭和49年)3月 早稲田大学政治経済学部卒業
職歴
1974年(昭和49年)4月 富国生命保険相互会社入社
1988年(昭和63年)10月 財務企画室長
1998年(平成10年)4月 総合企画室長
2002年(平成14年)7月 取締役 総合企画室長
2005年(平成17年)7月 常務取締役
2009年(平成21年)4月 取締役 常務執行役員
2010年(平成22年)7月 代表取締役社長 社長執行役員

スタートアップの若者たち²

～山梨から未来を創る～ ヴィジヨナリーパワー株式会社 代表取締役 戸田達昭氏



自己紹介

私は静岡県藤枝市生まれで山梨大学進学をきっかけに山梨県に移住、在学中に起業しました。自らの事業はもちろんですが、起業創業の促進に係る取り組みやスタートアップへの投資、まちづくりに関する活動、事業を介した地域課題の解決に取り組んでいます。また山梨県内では山梨大学、山梨県立大学、甲府工業専攻科にて次代を担う若者向けに起業家精神醸成に係る授業を担当しています。山梨を活性化するための

めには強い産業を山梨に創出し、その担い手を育む「しかけ」が必要と考え、県内の優れた方々を取締役や株主にお迎えして2017年11月15日にヴィジヨナリーパワーを設立しました。

事業内容について

私たちは新電力をメイン事業としており、お客様に電力供給を行うというとてもシンプルなものですが、想いや理念（パーパス）に特徴があります。

ヴィジヨナリーパワーの理念（パーパス）は、新電力として経済の循環とエネルギーの循環を同時に満たすことで持続可能な地域づくりに貢献すること。また「創業報奨」（起業・創業を活性化させて山梨県に報いる）をスローガンとし、新事業に取り組む事業者への投資や、文化、福祉領域に対する公共的な事業に投資を行うことです。そのために、単に電力供給を行うだけでなく、SUSTIC（Sustainable choice）という電力メニューを創設し、お客様が自ら選択し、我々にお支払いいただいている電力料金の一部を各種課題解決に取り組む団体への寄付、高校生や大学生、社会人等が起業創業にチャレンジするような取り組み（Mt・Fujiイノベーションキャンプ、Y・NEXT）等に対する資金提供を行っています。

この事業の発想の原点は、私がニューヨークを訪れた時の体験にあります。現地の社会起業家に対して、私たちは産学官民の連携で地域課題の解決に取り組んでいるという話をした際に、なぜ「官」が入っ

ているのか、その役目は何かという質問がありました。財源（税金を拠出すること）がメインということを伝えたところ、「それはナンセンス、地域の課題は地域のプレイヤー（民間）で解決するべき。財源も民間で生み出すべきでありアメリカは民間や市民からの寄付の受け皿である財団法人がそれを担っている。」というやり取りでした。私はまだまだ寄付文化が薄い日本においてどのような持続可能な財源を生み出す仕組みを作れば良いのかを考え、電力の自由化に目を付け、そこからこの事業は始まりました。山梨県には電力会社が存在していないため、エネル

ギーは外部に依存しています。それはエネルギー費が外に出て行っていることを意味しています。それを止めて、財源を作り山梨県内に回す。また、積極的に県外や海外へも投資を行い、山梨県色のお金を増やし、山梨に還流させる。そういった思いに賛同してくれた株主や取締役、社員、お客様のおかげでヴィジヨナリーパワーそのものが成り立っています。

今後の事業展望について

世界的に必要性が叫ばれている

脱炭素・カーボンニュートラル社会の実現に向けたエネルギー供給の仕組みの構築として、山梨県が積極的に取り組んでいる農業分野における4パーミル・イニシアチブとの連携や、林業分野との連携により発電における二酸化炭素をオフセットしたCO₂フリーの電力の供給を行います。

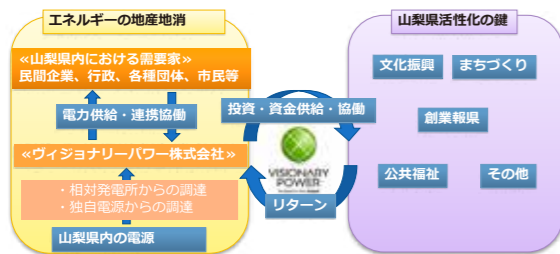
また、耕作放棄地の解消とエネルギーの地産地消を同時に実現するエネルギー作物の栽培及び供給に取り組む、現状ではエネルギーコストが高く環境負荷の高い施設園芸

（ハウス栽培）の課題解決に取り組みます。そして脱炭素・カーボンニュートラル社会の実現に向けて一般社団法人FCYFINE plus等と連携をし、水素・燃料電池産業の活性化に向けて、自らもプレイヤーとなり水素社会の実現に向けた事業開発を行っています。

今後も皆さまとともに創業報奨のスローガンのもと、産業、づくりと人づくりに邁進してまいります。応援宜しくお願い致します。



弊社が実現するスキーム



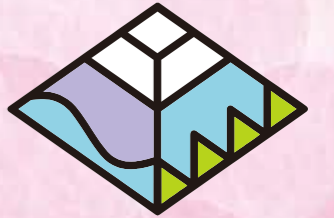
地域経済の循環、再投資とリタンの好循環を創出

会社概要

社名：ヴィジヨナリーパワー株式会社
 代表取締役：戸田 達昭（1983年生）
 取締役：大木貴之、杉山歩、長谷部条、保坂東吾
 監査役：竹野幹男
 従業員数：2名
 設立：2017年11月15日
 本社：山梨県甲府市大手1丁目2番21号
 イノベーションベースSoie112
 小売電気事業者登録番号 A0494
 事業：小売電気事業、投資事業、人材育成事業

実績

供給地点数：250地点（低圧205地点、高圧45地点）
 販売電力量：6.738MW（2023年4月1日現在）
 売上：2億円（第5期2022年10月末時点）
 協力事業：
 Mt.Fujiイノベーションキャンプ（山梨県事業）
 Y-NEXT～タンキューノソノサキへ～（山梨県事業）
 サステナブルクッキング（山梨県事業）
 提供メニュー：
 QB Power（山梨クイーンビーズバスケットボール支援）
 FBでんき（フードバンク山梨支援）
 YAMANASHI choice（山梨県内企業支援）
 YAMAMORI POWER（山守人支援）
 Route夢パワー（Route支援）
 みんなのおうちでんき（みんなのおうち支援）



トピックスやまなし

山梨県の施策についての最新情報や、選りすぐりの観光情報をお届けします

やまなしから始まる水素エネルギー社会

地球温暖化が進み、気候変動による自然災害が世界的に頻発している。その対策として脱炭素社会の実現が急務とされており、日本においても2050年までに「カーボンニュートラル」実現を目指すし、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという目標を掲げている。

この切り札として、山梨県企業局が甲府市の「米倉山電力貯蔵技術研究サイト」で研究開発に取り組む「やまなしモデルP2G（パワー・ツー・ガス）システム」が、幅広い分野での活用を期待されている。

「やまなしモデルP2Gシステム」は、再生可能エネルギー（再生エネ）の電力を用いて水素を製造することにより、電化で対応することが困難な、蒸気や直接火炎を利用する等の産業向けのエネルギーの脱炭素化を図るものとしている。

米倉山での実証成果として、「やまなしモデルP2Gシステム」を広く国内外に普及させるため、昨年2月に民間企業と共に株式会社やまなしハイドロジェンカンパニーを設立した。

今後、世界の潮流を後押しにシステムのさらなる普及を進め、多くの地域が脱炭素化と再生エネの主力電源化を実現できるように貢献していく。

また、近年本格化する脱炭素化の流れに全国に先駆け取り組んだことが功を奏し、県内には、「米倉山電力貯蔵技術研究サイト」以外にも、山梨大学の「水素・燃料電池ナノ材料技術研究センター」や水素供給利用技術協会の「水素技術センター」など、水素に関する世界最高水準の研究開発拠点が集まっている。

米倉山では、新たに「米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ（Nesrad）」を建設し、世界最先端の技術者が交流する拠点が誕生した。

本県がこれまで積み上げてきた水素・燃料電池に関する技術開発や研究、実証の成果を活用して、入居する企業同士が連携し、また研究者らが交流し互いに高めあう環境を提供する。

また、このNesradには、燃料電池分野で日本を代表する研究・評価機関である「技術研究組合FC・Cubic」が東京お台場から移転した。

企業や人々の経済活動を通じて、産業の安定的な発展や、定住人口や交流人口の増加による山梨県の活性化が期待される。

実証成果によって得た知見をもとに、技術開発やP2Gの導入促進を段階的に進めるとともに、米倉山での新たな取組を通じ、脱炭素社会をけん引していくものとする。

「不安定な電力での水素製造」と「安全な水素貯蔵・輸送」の技術開発から、水素社会の実践までを一貫して提案



【やまなしモデルP2Gシステム】



【米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ「Nesrad」】

令和4年度 「ワイン県やまなし」美酒・美食推進事業 「やまなし美酒セミナー2023」

山梨県では、「お酒の数だけ、美味しい旅がある。やまなし」をコンセプトに、美酒・美食を目的とした誘客促進に取り組んでいますが、今回、県内店舗において県産酒の提供・販売等に携わる方を対象に、「やまなし美酒セミナー2023」を開催しました。

「やまなし美食コンソーシアム」メンバーでもあり、ソムリエの長谷部 賢氏がナビゲーターとなり、ワインと日本酒の醸造家2名をゲストにお招きし、3名のトークに沿って、参加者にペアリングを体験していただきながら、県産ワインと日本酒の基本知識や接客のポイントなどを学んでいただきました。

参加者からは、「県産酒で山梨を盛り上げるためには、お客様と直接接する私たちサービス人材のスキルを上げることが重要だと強く感じました」、「楽しく和やかな雰囲気でのセミナーで、参加できて本当に感謝しています。これからの接客に役立てていきたいです」などの声が寄せられました。



【概要】

開催日時

令和5年2月8日(水) 14時~16時

会場

ホテル談露館
(甲府市丸の内1-19-16)

ナビゲーター

長谷部 賢氏
(Wine Cellar HASEBE 長谷部酒店オーナー)

ゲスト

茂手木 大輔氏
(本坊酒造(株) マルス山梨ワイナリー 製造課長)

北原 亮庫氏
(山梨銘醸(株) 専務取締役 兼 醸造責任者)

講師 長谷部 賢・プロフィール

山梨県大月市出身/やまなし美食コンソーシアムメンバー / 日本ソムリエ協会認定ソムリエ・エクセレンス / ボルドーワイン委員会認定 ボルドー公認講師/2011年甲州市勝沼町に「勝沼食堂パナソニック」をオープン/2013年ワインアドバイザー 全国選手権大会において優勝/2017年JR東日本「トランスイット・四季島」ワイン・コンセルジュに就任/2018年(一社)日本ソムリエ協会理事に就任/2022年4月山梨県立大学客員教授に就任



山梨県では、県内の伝統工芸品を「山梨県郷土伝統工芸品」に認定しており、これまでに12品目を認定しています(うち3品目は国指定の伝統的工芸品)。
令和5年1月、笛吹市及び市川三郷町で伝統的技法により製造される打上花火の花火玉について、「甲州花火」として郷土伝統工芸品への認定申請があり、25年ぶりに新規認定することとなりました。
令和5年3月14日には山梨県庁で認定証交付式を実施し、長崎知事から申請者に認定証を交付したほか、山梨伝統工芸品産業協会から認定盾が授与されました。

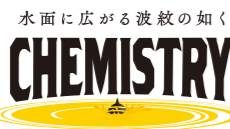
「甲州花火」を山梨県郷土伝統工芸品に新規認定

「甲州花火」の申請者である「やまなし伝統花火組合」には、県内老舗煙火事業者の「(株)山内煙火店(笛吹市)」、「(株)マルゴ(市川三郷町)」、「(株)齊木煙火本店(市川三郷町)」の3社が加盟しています。
「甲州花火」は武田信玄時代の烽火を起源とし、製造技法は江戸時代の町衆の技術も受け継ぎながら明治時代に確立されました。その伝統的技法を脈々と受け継ぐ3社は、県内の代表的な花火大会である「神明の花火大会」や「石和温泉花火大会」の他、県外各地の花火大会にも参加し、内閣総理大臣賞を受賞するなど、華々しく活躍しています。



甲州花火を含む全13品目の「山梨県郷土伝統工芸品」の詳細については、山梨県産業振興課のホームページ「やまなしの美技」をご覧ください。





SEASON 2022-2023

(化学反応)

CHEMISTRY 第二章 - 新シーズンへ!

今シーズンも温かい応援 ありがとうございました

昨年5月、金子寛治ヘッドコーチを迎えシーズンのスタートを切ったクィーンビーズ。

金子HCの掲げる「人とボールが連動するトータル・バスケットボール」、そして身長長のハンデを平面でカバーする「オールコートのプレスディフェンス」を戦い方の軸として練習を重ね、その成果を実戦の場であるサマーキャンプ・オータムカップ、練習マッチで確認・修正して迎えた10月22日の対アランマーレとの開幕戦は劣勢を追いつき延長戦の末に勝利。

その後、勝ち星はつかないものの粘り強い戦いで成長をうかがわせるクィーンビーズは11月6日、昨季のファイナル進出チーム富士通に対して66-65で勝利するというジャイアントキリングを演じる。

年明け1月2日の東京羽田戦に勝利すると、日立ハイテク・三菱・デンソーと続いた強豪チームとの対戦で接戦を演じる場面も見せるが、コンディション不良の選手も多くクィーンビーズは白星から見放される。

2月25日の対姫路戦で今季ホームゲームでの初勝利を飾るが、翌日の敗戦で悲願のプレーオフ進出の夢は途絶えてしまう。その後も、取り組んできたバスケを最後まで表現し、今シーズンの幕を閉じたクィーンビーズの今季のチームスローガンは「CHEMISTRY(化学反応)」。

化学反応を起こして掴み取った歓喜の勝利

化学反応を起こさず流した涙

今季以上の大きな化学反応を起こすため、新たなシーズンに向けて歩み始めるクィーンビーズに、変わらぬご声援をお願いいたします。



今シーズンの試合結果等の情報は、山梨クィーンビーズホームページをご覧ください。

<https://www.yamanashi-queenbees.com>

山梨 クィーンビーズ



YAMANASHI QUEENBEES BASKETBALL CLUB

TEL.0551-45-9904 / MAIL.queenbees-office@true.ocn.ne.jp
〒400-0180 山梨県甲斐市宇津谷445 (学)日本航空学園

OFFICIAL SITE. www.yamanashi-queenbees.com
WJBL OFFICIAL. www.wbjl.org



がんばれ! ヴァンフォーレ甲府!

広報・小野の
ヴァンフォーレ日記



去る、2月11日に前年のJ1リーグ王者と天皇杯王者による戦いであるFUJIFILM SUPER CUP 2023に出場し、国立競技場で横浜F・マリノスと対戦しました。ヴァンフォーレ甲府は2022年天皇杯王者という称号を胸に戦いましたが、結果は1-2で惜しくも敗れ、準優勝という結果に終わりました。

結果は悔しいものとなりましたが、クラブ創設以来、初めてこのような大会に出場することができ、ヴァンフォーレ甲府にまたひとつ新たな歴史の1ページが刻まれました。

昨年の天皇杯決勝と同様に、山梨からも多くのファン、サポーターの皆様がスタジアムに駆けつけてくださり、想像を超える大声援でチームを支えていただきました。また、東京での開催ということもあり、山梨県人会連合会の皆様にもたくさんご来場していただき、クラブへのありがたい後押し

をいただきました。

昨年の天皇杯やこのカップ戦を戦い、山梨県人会連合会の皆様と共にかげがえのない素晴らしい経験ができ、とても嬉しく思いました。今年には疾風怒濤というクラブスローガンのもと、新たなシーズンがスタートしました。

今シーズンはJ2リーグを戦いながら、まずはJ1昇格を目指し、並行してアジアを舞台としたアジアチャンピオンズリーグに挑みます。まさに総力戦であり、クラブを取り巻くステークホルダーの皆様も含め全員のサポートが必須となるシーズンだと想います。

現状、始まったばかりですが、リーグ戦において皆様の期待に沿うような結果は手に入っておりませんが、新たなサッカーに試行錯誤しながらチャレンジしている段階でもあります。

サッカーだけに限らず、変化することに抵抗は生まれやすい傾向にあります。自分たちを信じ、前向きな姿勢で日々のトレーニングに励み、その先にある大きな成果を手にし、大きな喜びを皆様にお届けできるよう頑張ります。

今シーズンもご支援ご声援の程、よろしくお願いいたします。

FUJIFILM SUPER CUP 2023を終え

「富士の国」の話題から

記事提供 山梨日日新聞

2023年(令和5年)2月28日(火)
県人口80万人割れ 43年ぶり、少子化が影響

2月1日時点の山梨県の常住人口が80万人を割り込むことが27日、県関係者への取材で分かった。県人口は1980年5月以降、80万人台で推移しており、80万人を下回るのは約43年ぶり。県人口は新型コロナウイルス禍でリモートワークが普及して社会増の流れができていた一方、少子高齢化に伴う自然減が社会増を上回り、減少傾向が続いていた。

県関係者によると、今月1日時点の県人口は80万人台を割り込み、79万人台となった。県は28日に調査結果を公表する予定。

直近の1月1日時点の県人口は80万4000人(男39万3088、女40万7312)。今月1日までの1年間では自然減で6108人減、社会増減で2263人の転入超過となり、総人口は3845人減少した。昨年1月以降の社会増減は、5月に1679人増となって以降、1桁から6000人台の転入超過が続いている。

一方で、自然減は毎月7000人、3000人台の減少で社会増を上回る状況だった。

県人口は、1975年に78万3050人だったが、80年5月に初めて80万人を突破。85年には83万人台、90年に85万人台、95年に88万人台に増え、2000年9月にピークの89万5646人となった。以降は減少傾向となり、05年に88万人台、10年に86万人、15年に83万人台、20年に80万人台に落ち込んでいた。

県は19年の総合計画策定時、40年の県人口が64万人、60年は47万人まで減少すると推計し、対策を講じて人口減を緩やかにすることで40年の目標人口を69万1千人、60年は59万人にとどめる目標を設定。しかしコロナ禍で都市部から地方への人の流れが加速していることを受け、21年の総合計画の見直しでは、40年の人口を69万9千人、60年は59万9千人とする目標に上方修正した。

2023年(令和5年)2月22日(水)
小林幸子さんが勝沼にブドウ園 甲州種ワイン醸造へ

甲州市観光大使で歌手の小林幸子さん(69)が21日、同市勝沼町菱山に、ワイン醸造用ブドウの農園「さっちゃん葡萄園」をオープンした。市内のワイナリーの協力を受けて栽培し、秋には新酒ワインを販売する。

農園は、市内のワイナリー「シャトー勝沼」が所有する畑に開設。約10アールで、白ワインの原料となる甲州

種を栽培している。21日は園主の小林さんが農園を訪れ、「さっちゃん葡萄園」と書かれた看板を披露。畑で剪定作業を行った。

約1トンのブドウを収穫し、9月末にはワイン約千本を醸造する予定。オリジナルラベルを貼り、11月3日の山梨ヌーボー解禁に合わせ、「勝沼ぶどうの丘」などで販売する計画となっている。

小林さんは「自分のワインを造るという新しい夢が実現し、感動している。さっちゃん葡萄園を皮切りに世界中に甲州市をPRしていきたい」と話した。

市は昨年11月、県産ワインのPRにつなげようと、小林さんを市観光大使に委嘱していた。

2023年(令和5年)3月4日(土)

再開初日開店前から長蛇の列 新生岡島「待ちわびた」

百貨店の岡島(甲府市丸の内1丁目、雨宮潔社長は3日、再開発ビル「ココリ」内の新店舗で営業を再開した。地下1階から地上2階の計3フロアで、食品のほか、服飾や時計の高級ブランドの売り場を展開する。初日は開店前から長い列ができ、来店者からは「再開を待ちわびていた」との声が聞かれた。

初日の3日は、午前10時の開店前に、オリオン通りに面した入り口に約250人が並んだ。開店時間に合わせて雨宮社長が「設備を含めて安心安全に買い物ができる環境になり、3フロアの構成で全館を回りやすい。ゆっくりと店内で過ごしてほしい」とあいさつ。甲府商工会議所の進藤中会頭らとテープカットを行い、客を迎

え入れた。

地下1階の食料品売り場では、和洋菓子の各ブランドが開店記念の「お楽しみ袋」などを用意。各フロアは商品を求める人でごった返した。甲府市伊勢2丁目の大学生赤沢亮さん(19)は「食料品などが充実していて、買い物や催事で訪れる機会が増えそうだ。旧店舗がなくなり寂しいと言っていた両親にも帰って報告したい」と話した。

昨年、横浜市との2拠点居住を始めた同市丸の内2丁目の三宅由香さん(51)は「食料品や贈答品は岡島頼みだったので再開を待ちわびていた。必要なものが凝縮して回りがやす

い。憩いの場として街を盛り上げていってほしい」と期待を寄せた。

新店舗の売り場面積は、旧店舗の7分の1に縮小。一方で、食料品売り場には高級食材を扱うスーパー「明治屋ストアー」やベーカリーの「パンパティ」が県内初出店し、1階の化粧品売り場は既存の13ブランドに「RMK」が加わった。2階は服飾やリビング用品を展開し、ポロ・ラルフローレンなどの人気ブランドを維持している。

岡島の跡地は東京都内の不動産開発会社が取得し、建物を解体して高層マンションと店舗の複合施設を建設する。

2023年(令和5年)2月8日(水)
外国人労働者初の1万人 県内改正入管法後押し

山梨労働局が公表した外国人雇用状況によると、県内の外国人労働者数(昨年10月末現在)は、前年を12225人(13.3%)上回る1万4333人で、初めて1万人を突破した。記録が残る2008年以降で最多。19年4月の改正入管民法の施行で創設された在留資格「特定技能」を取得した労働者が前年より3倍近く増加しており、慢性的な人手不足を背景に制度の活用が進んでいるとみられる。

事業主がハローワークに届け出た雇用状況を集計。雇用事業所数も前年より145カ所(9.0%)多い1763カ所最多となった。外国人労働者が前年を上回るのは10年連続で、事業所とともに最多だった21年を更新した。

在留資格の内訳は、特定技能を含む「専門的・技術的分野の在留資格」が、技能実習の在留期間終了後の移行や留学生の就職で、前年比666人(43.0%)増の2216人。このう

ち、特定技能は435人増の586人で過去最多となった。特定技能の取得者は日本語が話せたり、特定の分野に関する技術を持っていたりするため、制度の周知が進むにつれて、取得人材の採用を進める企業が増えたとみられる。

このほか、新型コロナウイルス禍による入国制限などで抑制されていた「技能実習」が前年比241人(12.8%)増加し、2121人。永住者など「身分に基づく在留資格」は115人(2.4%)増の4931人。留学生のアルバイトなどを含む「資格外活動」が97人(12.3%)増の884人だった。

国籍別では、ベトナムが最多の2641人(前年比20.5%増)で全体の25.3%を占めた。ブラジルが1919人(6.6%増)、中国(香港などを含む)が1583人(2.9%増)が続いた。業種別では製造が499人(4.4%増)で最多。卸・小売が270人(8.4%増)、宿泊・飲食サービスは253人(15.0%増)。

一方、雇用事業所の規模でみると、30人未満が4041人(8.0%増)、30〜99人が2882人(14.3%増)などだった。

労働局は「人手不足は今後も続く見込みで、外国人労働者の雇用を進める企業は多くなっていく」とみている。

山梨日日新聞電子版は山梨県内外の最新ニュースや朝刊紙面、おくやみなど知りたい情報が満載です。



山梨&国内外のニュース速報



おくやみ情報



朝刊紙面も表示(30日分)



新型コロナウイルスや選挙などライブ配信

詳しくは **さん** に **ち** **検索**

山日電子版のプラン
電子版単独コース 月額 **3,410**円(税込)

お問い合わせ 山梨日日新聞社デジタル推進局 0120-460-321 055-231-3141
 〒400-8515 山梨県甲府市北口2-6-10 (受付時間: 平日午前9時~午後6時)



2月11日、国立競技場で天皇杯優勝のヴァンフォーレ甲府と2022年Jリーグ優勝の横浜Fマリノスが対戦するスーパークップが2023年シーズ

援参加が期待できることから、直ちにメール送信が可能な各単位団体代表者と連合会役員あてに「チケット購入申し込み受付」のメールを一斉送信しました。その結果、短時間にも関わらず締切の18日までに連合会役員、首都圏甲府会、甲府一高東京同窓会、甲府南高東京同窓会、北杜高校東京同窓会、十士会などから総計34名の申込みがありました。

甲斐市山梨県人会では、甲斐市に本拠地を置くバスケットボールチーム「山梨QB」の応援ツアーを開催するなど、甲斐市に縁のある方々を応援しています。興味をお持ちの方は、甲斐市山梨県人会事務局まで是非お問合せください。
電話055・267・7223
(甲斐市山梨県人会事務局寄稿)

最初の公式戦として開催され、各県人会から34名が応援観戦に参加
昨年の天皇杯優勝の余韻がまだ残る1月14日にVF山梨スポーツクラブから2月11日開催のスーパークップチケットは一般には全て抽選販売となるが、県人会連合会の会員については、クラブ関係者としての特別購入を斡旋する、但し一般販売との関係で申し込み締め切りは1月18日中との連絡が入りました。文化・スポーツ委員会では、前回天皇杯決勝の神奈川日産スタジアムと異なり、会場が都内の新装となった国立競技場であるため多数の応援参加が期待できることから、直ちに

第33回 大泉会総会開催される 令和5年2月26日(日) 第33回の大泉会総会が会場を新宿ヒルトンホテル内のサンクレール新宿に移して開催された

当日は絶好の開催日和であった。コロナ禍8波の感染拡大が懸念され

当日は前日までの大雪警報とは打って変わった晴天に恵まれ、山梨からも横浜Fマリノスに引けを取らない大応援団が国立競技場のスタンドを埋めました。総入場者数は50923人を記録しました。
試合は後半16分に勝ち越されるまで同点の接戦が続く、試合終了間際にVF甲府が押し込んで引き分けかと応援団は歓喜しましたがビデオ判定の結果惜しくもノーゴールとなり惜敗となりました。天皇杯優勝に続くJ1優勝チームに対しての大健闘に県人会応援席からも惜しみない拍手と声援と共に「本当に惜しかった」と残念がる声此起彼伏でしたが、今シーズンのJ1昇格に大いに期待が持てる試合内容に満足できる応援となりました。
(文化スポーツ委員会寄稿)

北杜高校東京同窓会 久々の懇親旅行 国境のトンネルを抜けると雪国であった

川端康成の小説「雪国」の旅情に浸り、新潟の美酒に酔いしれて語り合おうと、北杜高校東京同窓会は、文化自然鑑賞の会と歌唱研究会合同で久々の懇親旅行を実施した。令和4年12月1日(木)2日(金)にわたる1泊2日の越後湯沢への旅であった。新宿の工学院大学の前に午前9時30分に集合して10時に出発した。富士急トラベルを利用し観光バスでの旅にした。コロナ禍の懸念されるところではあったが意を決してご参加頂いた方々には心より感謝申し上げます。
全国旅行支援割引の制度にのって比較的安く大変喜ばれる旅行であった。バスの中ではコロナ感染予防に気を付



スは帰路に向かった。国境のトンネルを抜けると向かう関東は冬ばれの良い天気であった!
(北杜高校東京同窓会 石川東洋男様寄稿)

ふんだんに盛り込んだ宴会食は評判が良かった。食後の2次会は歌唱研究会の奮闘により盛り上がった。皆さんなかなかの美声の持ち主である。初日は残念ながら雪は降らなかつた。雪国の風情には少々欠けたが翌朝起きてみると何とチラチラと小雪が舞い始めていた。心が洗われる様な朝であった。宿の皆様には盛大なお見送りを頂き

甲斐市山梨県人会 山梨クイーンビーズ応援 山梨クイーンビーズ(山梨QB)は、1月9日(月・祝)に国立代々木第二体育館で、日立ハイテクと対戦しました

甲斐市山梨県人会の飯窪光隆会長、保坂武甲斐市長のほか、清水喜彦連合会長にも応援に駆けつけていただき、手拍子で選手達を鼓舞しました。試合は90・70と残念ながら敗れてしまいましたが、今シーズンの開幕戦ではアランマーレ秋田相手に22点差を追い上げて勝利し、強豪の富士通からも1勝を挙げるなど、粘り強く戦う姿に更なる期待を寄せています。





ク博士の「自分のことは自分できちんと判断する」という教えが胸に深く刻まれたという。

その後、早く博士の「自分のことは自分できちんと判断する」という教えが胸に深く刻まれたという。

その後、早く博士の「自分のことは自分できちんと判断する」という教えが胸に深く刻まれたという。

講師に招いたのは北杜市（旧高根町）出身で西武文理大学学長の八巻和彦氏。八巻氏は山梨で青少年期を過ごしたジャーナリストで、戦後に内閣総理大臣も務めた石橋湛山をテーマに「歴史と世界を俯瞰した人・石橋湛山」と題して、講演した。

稲田大学に入学した湛山は、恩師となる田中王堂と出会い、強い影響を受けた。早稲田大学文学部を首席で卒業すると、1911年に東洋経済新報社に入社し、1946年に社長を辞任するまで勤務した。



八巻氏は湛山が婦人（女性）の地位向上についても早くから発言していたことを紹介。湛山は婦人も男性と同じように一人の人格として社会で活躍すべきだと説き、婦人参政権がまだ一般的な議論になっていないときから、そういったことを視野に入れた文章を書いていたという。

在京山梨政経懇話会 3月7日、東京都千代田区のLEVELXXI東京會館で第201回例会を開いた

八ヶ岳の自然環境を大切にし、地産地消に努め、消費者に良いものを提供し、生産者には応分の利益を提供する、又社員の適材適所の心配りは社内

1946年に初めて衆院選に立候補した湛山は落選したが、当時の吉田茂首相に請われて大蔵大臣に就任。翌年の衆院選で初当選するも、直後に連合国軍総司令部（GHQ）から公職追放処分を受けた。51年に公職追放が解除されると政界復帰し、通産相を務めた後、56年12月には首相に就任するが、病気のために57年2月に辞任する。その後も中国を訪問し「石橋・周共同声明」を発表するなど積極的な政治活動を続けた。

八ヶ岳の自然環境を大切にし、地産地消に努め、消費者に良いものを提供し、生産者には応分の利益を提供する、又社員の適材適所の心配りは社内

八ヶ岳の自然環境を大切にし、地産地消に努め、消費者に良いものを提供し、生産者には応分の利益を提供する、又社員の適材適所の心配りは社内

八ヶ岳の自然環境を大切にし、地産地消に努め、消費者に良いものを提供し、生産者には応分の利益を提供する、又社員の適材適所の心配りは社内



八ヶ岳の自然環境を大切にし、地産地消に努め、消費者に良いものを提供し、生産者には応分の利益を提供する、又社員の適材適所の心配りは社内

八ヶ岳の自然環境を大切にし、地産地消に努め、消費者に良いものを提供し、生産者には応分の利益を提供する、又社員の適材適所の心配りは社内

ご招待者も含めて40名余りの方々にご参加を頂いた。

活動報告、会計報告は2年間休眠状態であった為際立った内容は無かったがやむを得ない事と思う。新会長に丸茂義典会長代行が承認された。

今後の観光人口の増加、定住人口の増加に貢献できれば嬉しいとも言える。

ご来賓の方々の紹介の後、北杜市長の代理でご参加頂いた大泉総合支所長の三井博彦様が北杜市行政の現状説明を兼ねてご挨拶を頂き、続いて県人会連合会の会長清水喜彦様よりコロナウイルス禍の

第二部は、大泉町にあるひまわり市場と言うスーパーマーケットの那波秀和社長様に「スーパーの経営と地域振興について」と題して講演をお願いした。

楽しい時間は瞬く間に過ぎゆき最後に元アメリカ講談社副社長の浅川港氏の指揮による「雪の谷戸城」の合唱に続き元大泉会会長の浅川元治郎氏の中締めにより散会となった。来年度は更なる感動的な会の開催を期待したい。



山梨県 ふるさと納税

皆さまのふるさと山梨では、ふるさと納税でご寄附をいただいた貴重な財源により、豊かで美しい山梨を未来に引き継いでいくため、様々な施策に全力で取り組んでいます。

また、令和4年11月には、県全体の寄附額増加を目指し、県内市町村の魅力的な返礼品を紹介したパンフレットを作成し、皆さまに配布させていただきました。

山梨県は、寄附者の皆さまに今後もリピーターとして山梨を応援してもらえよう、また、ふるさと納税をきっかけとして山梨に親しみや愛着を持ち、継続的に訪れていただけるよう、全庁を挙げて取り組んでいきます。

ふるさと山梨を応援してください









企業版ふるさと納税制度もご活用ください

企業版ふるさと納税制度は、令和2年度税制改正による税額控除の拡充により、損金算入による軽減効果と合わせて最大で寄附額の9割が軽減される、より使いやすい仕組みになっています。

県では、寄附企業の皆さまの意向を踏まえ、施策の貴重な財源として活用させていただきます。

お問い合わせ先
山梨県 総務部 資産活用課
ふるさと納税推進担当
(TEL:055-223-1314)

単位団体（地区会）の開催予定行事 2023年3月24日現在		
日時	開催会合名	会場
5月14日	首都圏富士川会総会・懇親会	はくばく文化ホール (富士川町で開催)
5月17日	青年部「ほうとう会」総会・懇親会	富国生命ビル
5月28日	足立区山梨県人会総会・懇親会	西新井大師・清水屋
7月 1日	市川三郷町ゆかりの会「りんどう」総会・懇親会	未 定
7月 8日	甲府中学・甲府一高東京同窓会総会・懇親会	京王プラザホテル
8月26日	第30回女性の会総会・懇親会	アルカディア市ヶ谷

山梨県出身者の子弟を対象とした「給費奨学金」 受給者を募集しています。(山梨県人会連合会枠) 公益財団法人堀内浩庵会 2023年度大学奨学生(給付型)募集要項

- 1 応募資格**
東京都在住の山梨県出身者の子弟で、現在、国・公立高等学校より国公立大学並びにそれに準ずる私立大学へ進学しようとする者で、学業、人物ともに優秀かつ健康であって、山梨県人会連合会経由でエントリーする者
- 2 募集人員**
山梨県人会連合会枠として若干名
- 3 奨学金の給付金額と期間**
 - ① 奨学金は年額30万円とし一年分を支給（2022年度実績）
 - ② 期間は最長4年間 ※医学部生・大学院生は 別途選考でプラス2年間
- 4 奨学金制度の併用**
原則、他の奨学金制度との併用は不可
ただし、日本学生支援機構奨学金、学校独自制度、貸与型（返済あり）の奨学金制度の併用は可
- 5 応募書類**
 - ① 願書……………指定書式に必要事項を記入 ※要 連帯保証人
 - ② 住民票……………本人及び願書に記載する家族全員
 - ③ 大学在学証明書
 - ④ 健康診断書
- 6 その他**
毎年4月及び9月に開催される「奨学生の集い」に参加することと、毎年成績表の提出を求めます。成績不良の場合は、退会を求められることがあります。
- 7 応募書類提出方法**
該当者・希望者がある場合は山梨県人会連合会事務局へお問い合わせください。
(申し込みは随時受け付けます。)

連合会の動き

○第3回理事会

【日 時】令和4年12月12日(月) 午後3時00分～3時56分

【場 所】上野精養軒 3階 桐の間

【出席者】役員40名

【司 会】飯窪光隆 総務副委員長

1 開会(総務副委員長 飯窪光隆)

2 挨拶(会長 清水喜彦)

・新型コロナウイルスの第8波が高止まりで推移している状況で、むしろインフルエンザ流行の方が怖いのではないかという見方も出ているところ。こうした中で本日は新春賀詞交歓会の開催の可否について審議をお願いしたい。2年におたり中止しているので可能な限り開催する方向で、しかし慎重な判断をして参りたいと考



えている。

3 議事(会則第18条により、会長が議長に就任) 議長 清水喜彦

(1) 各委員会報告

①総務委員会(総務委員長 中村芳文)

・第4回総務委員会の審議経過を報告

②事業委員会(事業委員長 飯島登美夫)

・第4回事業委員会の審議経過を報告

③広報委員会(広報委員長 山下昌彦)

・第3回広報委員会の審議経過を報告

④文化・スポーツ委員会

・事務局長から第1回文化・スポーツ委員会の審議経過を報告

・委員会報告について質問等は無し。

(2) 令和5年新春賀詞交歓会について

①開催概要

②次第(案)

③収支予算案

・事務局長から①開催概要②次第(案)③収支予算(案)を説明、特に質疑等は無く、「現時点では原案のとおり開催する」との提案が承認された。

・但し、12月26日及び令和5年1月10日のそれぞれの時点の感染状況を見て開催可否の判断を会長に一任することを決定。

(3) 第74回総会開催概要について

・事務局長から開催概要を説明、開催概要は

学

(3) Cool Yamanaishi 東京開催企画

①県の企画などと合わせての開催も検討

②県人会の総会1部2部での開催

③カーヴドワイン県やまなしソムリエ「田崎真也」×ワインツーリズム

4 次回委員会開催 2月20日(月) 16時00分)

○第2回文化・スポーツ委員会

【日 時】令和5年1月30日(月) 13時30分～14時30分

【場 所】山梨県人会連合会 事務局

【出席者】委員長・委員3名

1 開会

2 挨拶 委員長 佐野公哉

3 議事

(1) 第74回総会演目について

・各委員から演目案の提案を発表後、荒井副委員長から「奥山眞佐子 樋口一葉ひとり語り」のオリジナル脚本での公演の提案があり、全委員一致で総務委員会に提案すること

を決定

・公演時間は約20分程度とし、懇親会の乾杯前に行う旨提案する

・奥山委員は企画書を作成し、委員長から総務委員会に報告する

・乾杯後のアトラクションは音楽大学学生に

原案のとおり承認された

(4) その他

・今後の行事予定を事務局長から説明

・山梨共修社創立120周年記念誌及び深澤副会長ご著書の寄贈があり、出席者全員に配付された

4 閉会

○第5回事業委員会

【日 時】令和5年1月12日(木) 16時00分～17時30分

【場 所】株式会社内藤ハウス会議室

【出席者】委員長・委員2名、(Web開催)、事業委員会事務局1名

1 開会

2 挨拶 委員長 飯島登美夫

3 議事

(1) クールやまなし事業「米倉山 山梨グリーン水素見学ツアー」

①参加者募集

・募集チラシ作成完了 申込QRコードより申込可能

・単位団体代表者あて県人会連合会事務局より送付(挨拶文を添付して1月6日 発送済)

・連合会のHPにチラシ掲載済(1月16日)

・1月27日賀詞交歓会にて参加者募集チラシ配布

よる弦楽4重奏などの提案があったが、現時点では具体的な候補グループが見つからないため、引き続き検討する

(2) その他

・VF甲府×横浜Fマリノスが国立競技場で対戦する2月11日開催のスーパーカップチケットを連合会・スポーツ委員会であつ旋し当日は応援・観戦を行う。(34名がチケット購入)

4 閉会(14時30分)

○第4回広報委員会(開花号編集会議)

【日 時】令和5年2月7日18時00分)



②スケジュール等現状報告

- ・第1回募集締め切り1月31日(火)
- ・1月末の残数により、募集方法を再検討する。
- ・企画催行するか否かの判断 2月22日(水)
- ・各単位団体の担当を決めて募集する。
- ③その他(検討事項)
 - ・ツアー参加者は名札を付けるか
 - ・参加者へのコロナ対策

(2) Cool Yamanaishi 次回企画の検討

- ①サントリー白州蒸留所見学+荻崎大村美術館 面白い白州ハイボールを味わい、大村絵画を楽しむ会
- 時期・2023年初秋
- ②ウイスキー、日本酒、ワイン、クラフトビールのうんちく+試飲+即売会
- ③峡東地区世界農業遺産認定+ワインツーリズム
- ④峡北地区 荻崎市、北杜市
- ⑤早川町 リニア南アルプストーンネル工事現場見学会 +西山温泉
- ⑥大月市他 葛野川揚水型発電所見

あつ旋し当日は応援・観戦を行う。(34名がチケット購入)

○特集

- ①新春賀詞交歓会 (3頁4頁)
- ②クールやまなし3月8日米倉山グリーン水素見学ツアー (3頁4頁)
- リンケージインタビュー (4頁)
- ・米山好映氏 (富国生命保険社長)
- ・2月28日インタビュー予定
- トピックスやまなし (山梨県のページ) (3頁+観光部1頁)
- ・特集 ・県内情報
- ドクター望月の山梨トリビア③ 「未定」 (1頁)
- スタートアップする若者たち「山梨から未来を創る」② (2頁)
- 「富士の国」の話題から (3頁) 記事提供 山日新聞社
- パーティーインフォメーション (3頁)
- (1)1月8日クインビーズ応援 (寄稿) 代々木体育館



- (2)2月11日V F 甲府スーパークップ応援
- (3)2月26日大泉会 (寄稿)
- (4)堀内浩庵会奨学生募集案内
- 連合会の動き (4頁)
- (1)12月12日第3回理事會
- (2)1月12日第5回事業會

委員会

- (3)1月30日第2回文化・スポーツ委員会
- (4)2月7日第4回広報委員会
- (5)2月14日第5回総務委員会
- (6)2月20日第6回事業委員会
- 連合会日より、お知らせ (1頁)
- ・編集後記 (山下委員長)
- がんばれヴァンフォーレ甲府
- がんばれクインビーズ
- クリーンファイターズ山梨
- 広告①サントリ②山梨県 ③サンリオ
- ④ホテル東京
- (2)紙面割 スケジュール
- 3 ホームページの運営について
- 更新計画及び費用の見積り
- 4 盛夏号編集会議 (令和5年度第1回広報委員会) の日程について

○第5回総務委員会

- 【日時】令和5年2月14日 (火) 15時10分～16時35分
- 【場所】東京住友クラブ 会議室
- 【出席者】会長・委員長・委員6名、東京事務所1名
- 【司会】事務局長
- 1 開會
- 2 挨拶 会長 清水喜彦
- ・1月27日の賀詞交歓会については、3年振りに開催し無事終了したので安堵している



る。第8波がまだ収まらない中で、開催判断であったが、当日までには感染者数も下降傾向となり、総務委員会で議論し準備した万全の対策を講じて問題なく開催することが出来たことに感謝。

・山梨総研 (シンクタンク) のニュースレターに県人会連合会の歴史と今について紹介する原稿を書いた。ネット上で読めるのは是非ご覧いただきたい。

- 3 議事 議長 中村委員長
- 【協議事項】
- (1)新春賀詞交歓会について
- ①収支決算報告 (案)
- ②反省点及び来年度開催予定
- ・収支決算報告については4月の予算会議に決算見込と共に報告する
- ・アトラクションなしで開催したが特に問題はなかった
- (2)第74回総会について
- ①開催概要
- ②式次第 (案)
- ③演目提案 (文化スポーツ委員会)
- ④会員券販売計画
- ⑤収支予算 (案)
- ⑥今後の準備スケジュール

- ・懇親会演目は文化スポーツ委員会の提案のとおりとし、開催概要は3月の第6回総務委員会において詳細を決定する
- (3)令和5年度会議・行事予定について
- ・総務委員会、理事会の日程を協議し決定
- (4)令和5年度予算案への臨時経費の計上について
- ①ホームページの改修について
- ②事務局パソコンの更新について
- ・臨時的経費の計上について承認し、詳細については次回総務委員会で協議し予算案に計上する
- (5)その他
- 4 閉會 (16時35分)

○第6回事業委員会

- 【日時】令和5年2月20日 (月) 16時00分～17時30分
- 【場所】株式会社内藤ハウス会議室
- 【出席者】委員長・委員4名、(うち1名 Web参加)、事業委員会事務局1名、山梨県企業局2名、みたまの湯1名、丸藤葡萄酒工業1名、観光推進機構2名
- 1 開會
- 2 挨拶 委員長 飯島登美夫
- 3 議事
- (1)経過報告
- ①催行決定 新型コロナの感染状況を判断
- ②参加人数 参加者47名+添乗員1名 (2月

21日現在

- (2)催行内容の確認 各メンバーよりスケジュール 集合場所他確認
- ①山梨観光推進機構系井副部長
- ・案内図、名札を準備する
- ・最終人数の見積りを作成する
- ・バスは49名 (補助席を除く) 乗車可能なバスを手配済み
- ・車中飲み物等2本/1人手配済み
- ・甲府市、市川三郷町、甲州市から参加者に記念品等を配布予定
- ②企業局宮崎室長
- ・大会議室にて概要説明
- ・2班に分かれて見学 (A班・開発ビレッジ内見学 B班・水素製造施設見学)
- ・車内で視聴するDVD (10分+5分) を用意 (談合坂過ぎあたりで上映)
- ③みたまの湯 田中様



- ・到着後、遠藤町長挨拶、館内説明 研修室
- 1・2 プレゼント用意
- ・食事のメニュー検討中
- ・入浴後の休憩所として食事会場 (研修室
- 1・2) を使う
- ④ルバイヤート 狩野工場長

- ・到着後、2班に分かれる
- A班・ティスティング (30分) 大村社長 B班・ワイナリー見学 (30分) 狩野工場長
- ・大型バスと自家用車の駐車場の準備
- (3)第2弾企画の予定
- 「サントリ白州蒸留所・大村美術館を訪ねて」
- ・白州蒸留所見学及びサントリ名誉チーフブレンドー興水精一氏による講演
- 「ジャパニーズウィスキーの魅力」
- ・ノーベル賞 大村智博士による絵画コレクションを鑑賞
- ・開催時期・2023年10月中旬～11月 (白州蒸留所改修工事の状況により決定)
- (4)Cool Yamashi 企画の検討
- ・目的とターゲットを明確にする 今まで参加していない方、若い方に参加してもらえ企画とする
- ・ワインセミナー会は予算的に困難 県内の事業等とのドッキングも検討
- (県のCavendeワイン県のイベント、世界農業遺産のイベントなど)
- ・山梨ゆかりの偉人を学ぶ、関連施設の見学 (根津嘉一郎 関連施設の見学、根津美術館、東武鉄道関連施設、スカイツリーなど)
- ・その他 国立競技場、東京タワー、東京メトロ研修センターなど
- 4 閉會 (17時30分)

#HelloSDGs

ハローキティは、みんなが笑顔でなかよく暮らせる世界が続くことを願ってSDGsを応援しています。2019年には国連との協働を発表し、SDGs達成に向けた様々な取組みをYouTubeを通して世界中に発信しています。



キティと一緒にSDGsを学ぼう♪

動画で知ろう! SDGs



持続可能な開発目標 (SDGs)とは?

国連サミットで採択された2030年までにすべての人にとって、よりよい世界を実現するための17の目標です。「HELLO KITTY CHANNEL」では、YouTuberのキティがSDGsについて楽しく、分かりやすくご紹介しています。



◀動画はこちらから

連合会だより

第74回総会開催のお知らせ

- 日時 令和5年6月4日(日) 11:30 ~ 14:30(受付11:00~)
- 会場 京王プラザホテル コンコード・ボールルーム
- 参加者 来賓、連合会役員、各単位団体役員・会員 約360名
- 開催形式 会食形式(円卓6人~10人)
- 会費 10,000円(銀行振込)
- プログラム
 - 【第1部 総会】11:30 開会/議事/来賓祝辞/閉会
 - 【第2部 懇親会】12:15 開会
 - 語り 女優 奥山真佐子
 - 「私の愛する樋口一葉」~琴の演奏と共に~
 - 乾杯/懇談/閉会
- 申込 各単位団体代表者にお申し込みください
- 問合せ 山梨県人会連合会事務局 email info@yamanashi-kr.com
電話(03)3256-3093 FAX(03)3256-3015

令和5年(2023年)連合会 会議・行事等開催予定 3月24日総務委員会作成

月 日	曜日	時間	行事・会議名	会場
4月19日	水	16:00	令和5年度予算会議	アルカディア市ヶ谷
5月17日	水	15:00	第1回 総務委員会	東京住友クラブ
5月30日	火	14:00	第1回 理事会	上野精養軒
6月 4日	日	11:30	第74回 総会・懇親会	京王プラザホテル
8月 8日	火	16:00	第2回 総務委員会	東京住友クラブ
10月16日	月	15:00	第3回 総務委員会	東京住友クラブ
10月31日	火	14:00	第2回 理事会	上野精養軒
11月 6日	月	18:00	知事と語る会	京王プラザホテル
11月14日	火	18:00	山梨県市長会との懇談会	ホテルKKR東京
11月27日	月	16:00	第4回 総務委員会	東京住友クラブ
12月20日	水	16:00	第3回 理事会	上野精養軒
12月20日	水	17:30	単位団体代表者会議	上野精養軒

編集後記

◇1月27日3年ぶりに賀詞交歓会が開催されました。3月13日国の方針でマスクも「個人の判断」に委ねられ、5月にはコロナは5類に格下げされます。いよいよ県人会連合会活動もアフターコロナ時代を迎えました。気を付けながら慎重に、着実に嘗ての活気を取り戻していきましょう。

◇3月8日事業委員会主催の米倉山グリーン水素見学ツアーが行われました。山梨の太陽光と水でつくる水素が、わが国の脱炭素化社会実現をめざして、先頭を走って行ってほしいものだと思います。皆で応援しましょう。

◇日本人の寄付はアメリカ人の1/28(日経22:11:8)といわれています。こうした状況に憤慨して、新事業や文化福祉事業に寄付・投資を取り持つ会社「ヴィジョンリー・ジャパン」を立ち上げた戸田達昭氏、今回のスタートアップする若者たちに登場です。眼の付け所が素晴らしい。

◇今年の桜は甲府8日、東京10日例年より早く開花しました。入学式でなく卒業式に咲くという時代になってきたようです。

◇今回の山梨トリビアは「江戸期一宮の人は好奇心が強かった」というお話。歴史家網野善彦氏は「石和の市部は市庭で古くからの都市だった」と書いています。「日本の歴史をよみなおす」今も昔もあの辺り一帯の住み人は洗練されているのでしょう。

(山下)

祝福のチャペルへ



Hachioji-Nihonkaku

Chapel Wedding

緑の中で永遠の誓い
祝福と歓声につつまれた聖堂へ

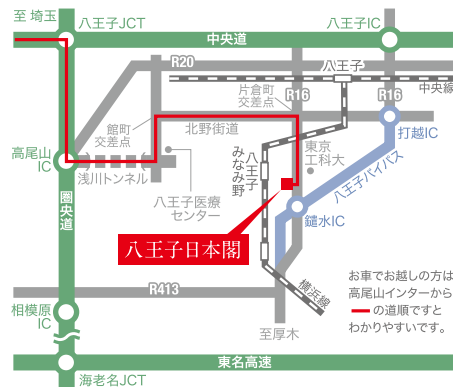
木立に囲まれた厳かな聖域「森のチャペル」。
木の温もりに溢れ、大切な方々とアットホームな雰囲気の中で永遠の愛を誓います。
挙式後はフラワーシャワーやブーケスも。



■電車をご利用の場合
JR大月駅 = JR八王子駅〈特急29分〉
(かいじ106号大月駅10:04発)
シャトルバスをご利用ください
●JR八王子駅から〈所要時間約15分〉
●JR八王子みなみ野駅から〈所要時間約10分〉
※時刻表などの詳細はホームページをご覧ください。

■お車をご利用の場合
圏央道「高尾山インター」より車で約20分
(圏央道がつながり、山梨方面からの
アクセスが便利になりました。)
カーナビにご入力ください **八王子日本閣**

お車でお越しの場合、大月I.Cより約45分!



Royal Garden Palace
八王子日本閣

お問い合わせ **tel.042-676-4122**
受付時間 9:00~21:00 火・水曜定休(祝日を除く)
〒194-0211 東京都町田市相原町1008番地 www.noce-ange.com